

令和6年度（2024年度） 湯沢市当初予算案 概要

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

 YUZAWA CITY

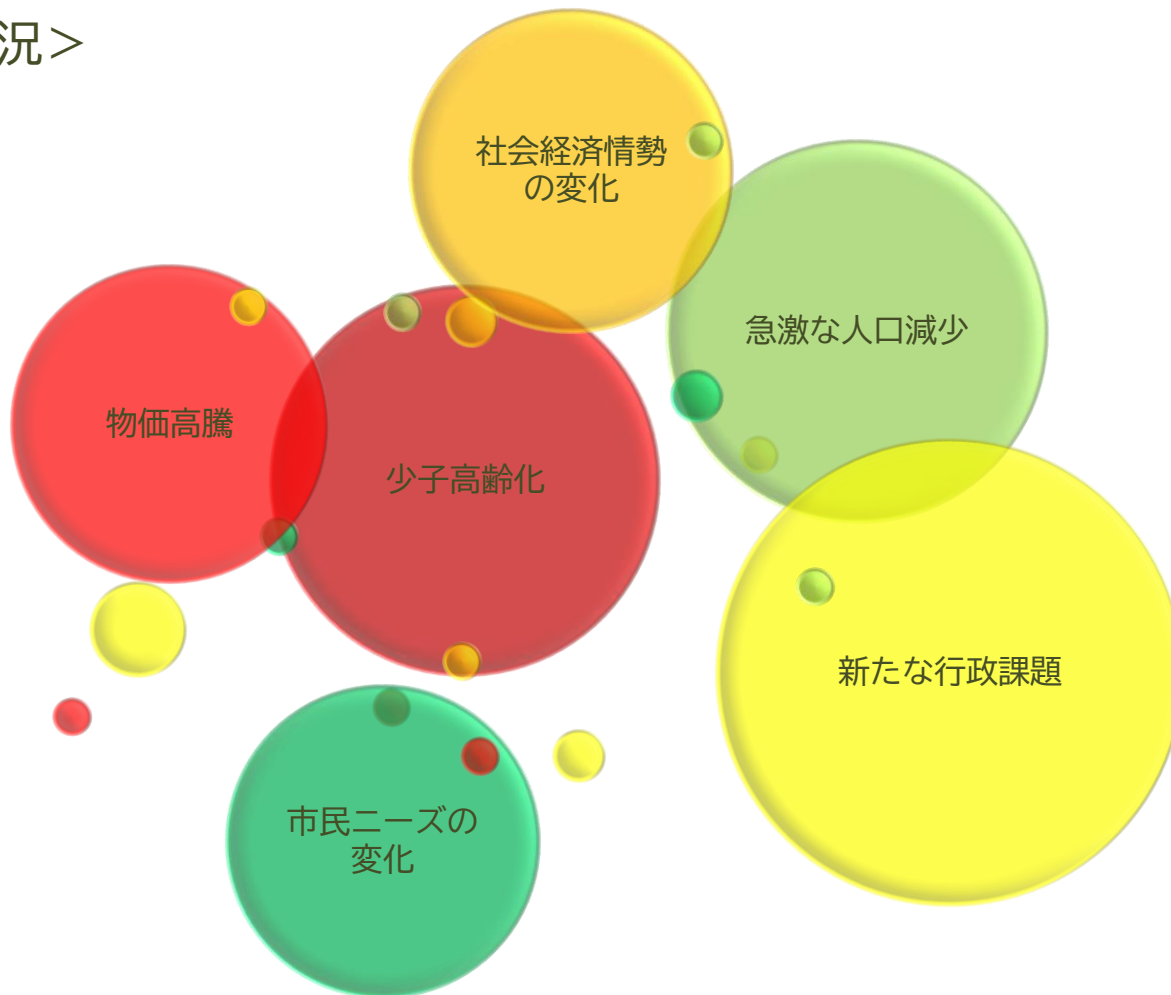
1. 予算編成の基本的な考え方
2. 予算の概要
3. 主要施策の推進に向けた取組
4. 主な政策的事業

1. 予算編成の基本的な考え方



1. 予算編成の基本的な考え方

<市を取り巻く状況>



令和6年度予算については、「第2次湯沢市総合振興計画」基本計画後期5か年の3年目として、計画に掲げる施策をより一層、効率的な手法を採りつつ効果的に推進するとともに、国の制度変更や社会経済状況の変化に的確に対応しながら、「湯沢市経営戦略」による戦略的な経営方針のもと、次代を見据えた持続可能なまちづくりを推し進める必要がある。

1. 予算編成の基本的な考え方

< 予算編成における基本方針 >

◎ 「第2次湯沢市総合振興計画」の効果的な推進

各施策や事務事業の棚卸を行い、基本目標の達成と各分野の推進に寄与する積極的な見直し改善を図る。

【基本目標1】 みんなの信頼で築く丈夫なまち

【基本目標2】 健康と暮らしを共に支え合う笑顔があふれるまち

【基本目標3】 ふるさとの技が光る、存在感あふれるまち

【基本目標4】 あたたかな心と豊かな文化で人が集うまち

【基本目標5】 豊かな自然が輝く安全で暮らしやすいまち

◎ 主要施策の推進に向けた取組

現下の厳しい社会経済情勢に的確かつ柔軟に対応し、市民生活の安全安心を維持するための取組を推進する。

少子化・子育て対策
の充実

DX化に向けた施策
の推進

脱炭素化実現に向け
た施策の推進

地域と連携したまち
づくりの推進

産業振興の基盤強化

◎ 一般財源減少への対応と財源確保に向けた取組

国際情勢や物価高騰等によって、一般財源については不透明かつ不安定な状態が予想されるため、すべての事業について、社会情勢や将来の見通し、財政状況等を勘案し、事業のねらい、最終形のイメージを明確にしたうえで、原点に立ち返って事業を計画する。

2. 予算の概要



一般会計予算（案）は、**313.6**億円（前年度比27.8億円増）

● 過去最大の予算規模

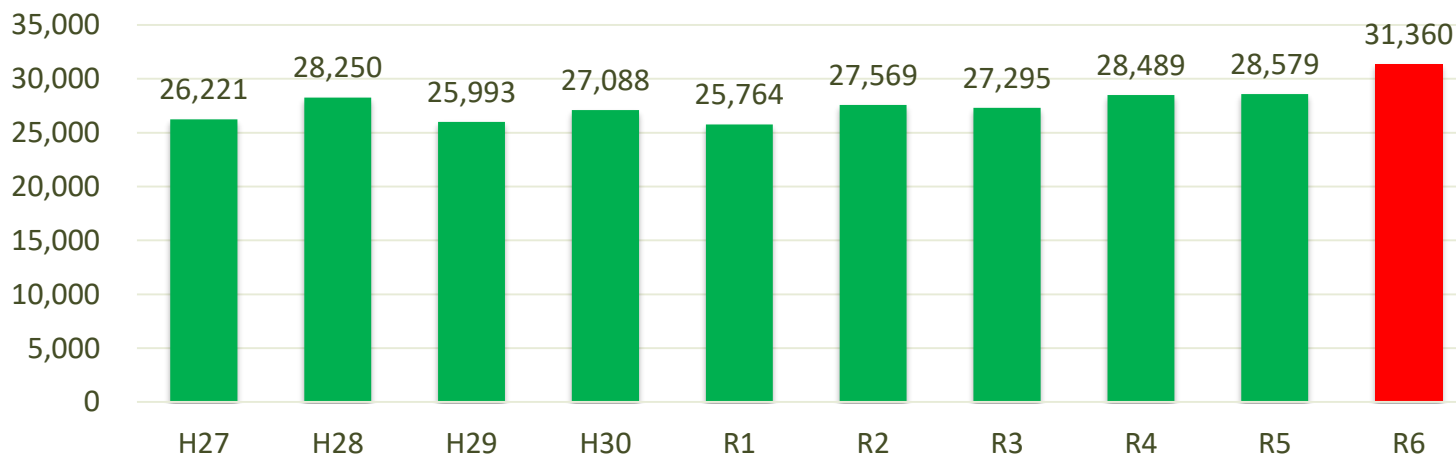
（主な要因）

- ✓ **人件費の上昇**
 - ・ R5.12の給与改定に伴う増
 - ・ 会計年度任用職員勤勉手当支給開始による増
- ✓ **物価高騰による業務単価の増嵩**
- ✓ **人件費の上昇等に伴う広域市町村圏組合への負担金の増**
- ✓ **大型建設事業の実施**
 - ・ 湯沢文化会館大規模改修工事
 - ・ 湯沢駅周辺複合施設整備に係る市道付替工事
 - ・ 緑風荘大規模改修工事 等
- ✓ **公共施設の老朽化等に伴う修繕及び解体費の増**



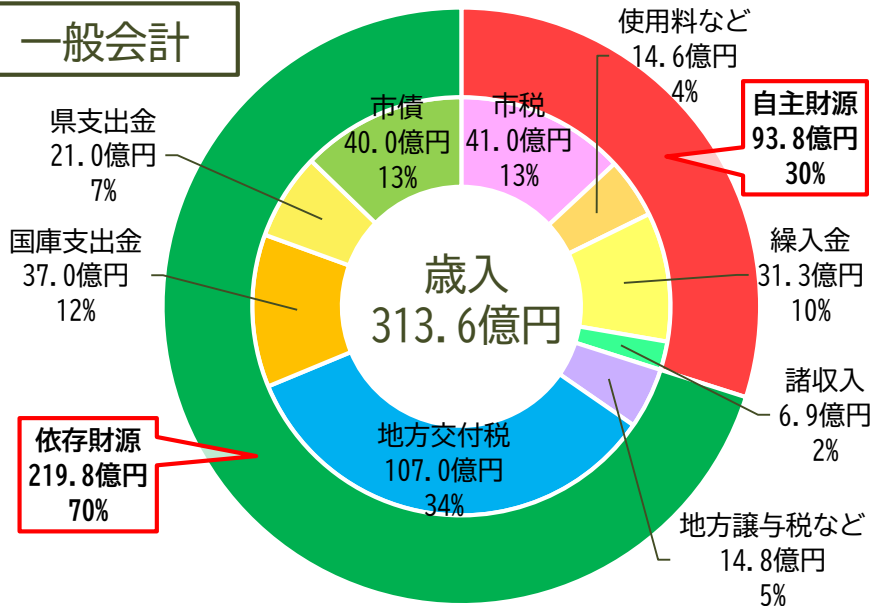
一般会計当初予算の推移

（単位：百万円）



2. 予算の概要

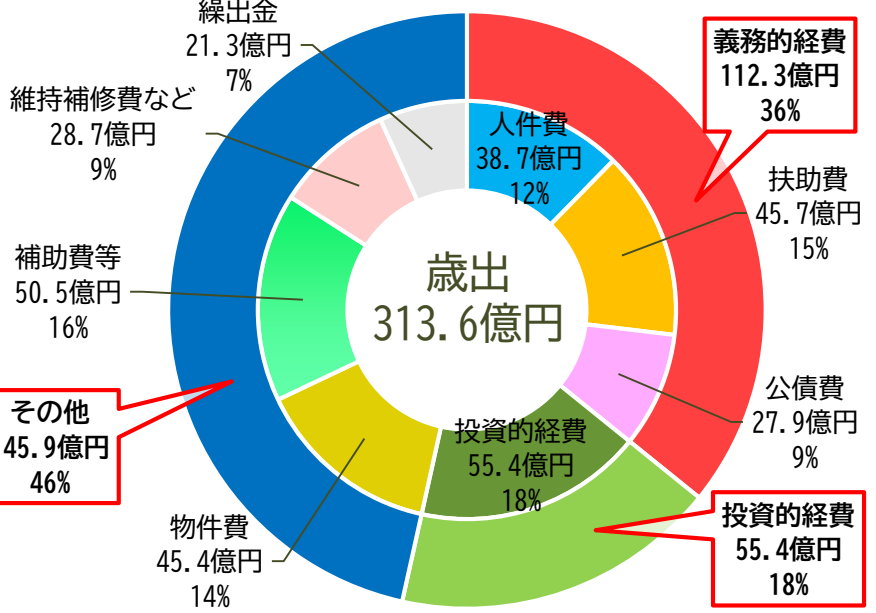
一般会計



| | 令和6年度 | (前年度比) |
|---------|---------|-----------|
| 市税 | 41.0億円 | (▲0.6億円) |
| 使用料など | 14.7億円 | (+2.1億円) |
| 繰入金 | 31.3億円 | (+5.8億円) |
| 諸収入 | 6.9億円 | (▲0.9億円) |
| 地方譲与税など | 14.7億円 | (▲1.3億円) |
| 地方交付税 | 107.0億円 | (+2.0億円) |
| 国庫支出金 | 37.0億円 | (+4.7億円) |
| 県支出金 | 21.0億円 | (±0.0億円) |
| 市債 | 40.0億円 | (+16.0億円) |
| 総計 | 313.6億円 | (+27.8億円) |

※使用料など…分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金、繰越金
 ※地方譲与税など…地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、法人事業税交付金、地方消費税交付金、環境性能割交付金、交通安全対策特別交付金

<歳入の概要>
 ・国庫支出金は電源立地地域対策交付金の交付等により増額
 ・地方債は湯沢文化会館大規模改修等に伴う借入額増額
 ・諸収入は学校給食費の無償化等により減額



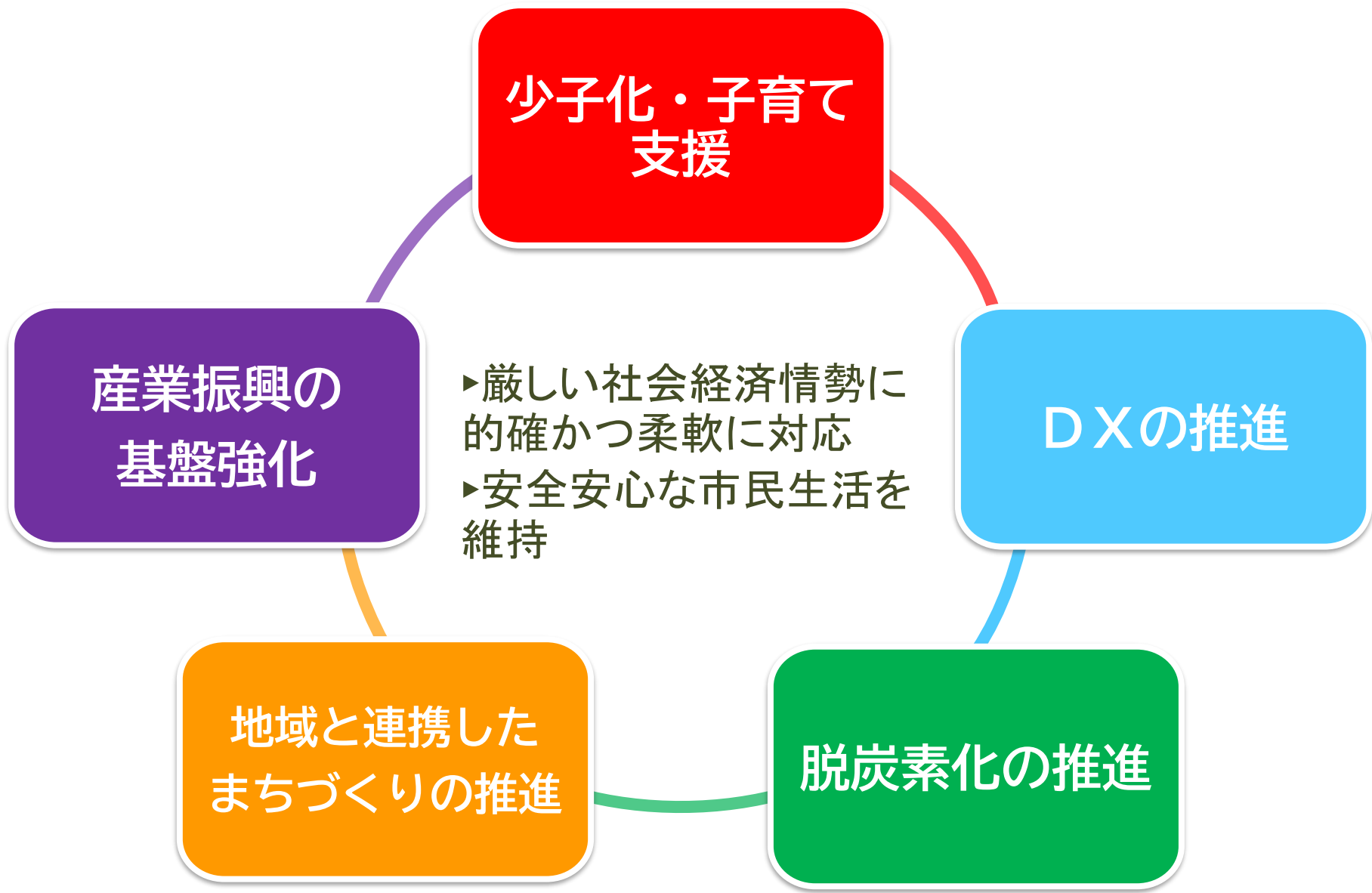
| | 令和6年度 | (前年度比) |
|---------|---------|-----------|
| 人件費 | 38.7億円 | (+1.1億円) |
| 扶助費 | 45.7億円 | (▲2.1億円) |
| 公債費 | 27.9億円 | (▲1.2億円) |
| 投資的経費 | 55.4億円 | (+22.1億円) |
| 物件費 | 45.4億円 | (+4.3億円) |
| 補助費等 | 50.5億円 | (+1.8億円) |
| 維持補修費など | 28.7億円 | (+1.6億円) |
| 繰出金 | 21.3億円 | (+0.2億円) |
| 総計 | 313.6億円 | (+27.8億円) |

※維持補修費など…維持補修費、貸付金、投資、出資金、積立金、予備費

<歳出の概要>
 ・投資的経費は湯沢文化会館大規模改修等の大型事業により増額
 ・人件費の上昇
 ・物件費（特に委託料）は物価高騰に伴う業務単価増により増額

3. 主要施策の推進に向けた取組





少子化・子育て支援

結婚支援、子育て支援の充実など、切れ目なく結婚・出産・子育て施策の更なる深化、充実を図り、「安心して子どもを産み育てられるやさしいまち」を目指すため、全庁的に少子化対策に取り組む。

予算額【902,424千円】

<主な取組>

学校給食費の無償化

- ・学校給食センター経費

子育て支援機能の拡充（拠点整備）

- ・湯沢駅周辺複合施設等整備事業

放課後児童クラブの新規整備

- ・放課後児童健全育成施設整備事業

結婚相談所費用の助成

- ・結婚サポート事業

保護者の就労要件を問わない通園制度の試行的実施

- ・子ども・子育て支援事業（R5繰越）



学校給食費無償化

担当：学校給食センター

「安心して子どもを生き育てられるやさしいまち」を目指すための施策の一つとして、**学校給食費の無償化**を実施する。

○無償化する学校給食費総額【103,160千円】 ※歳入の減額 *New*

湯沢市立の小中学校に通学している児童生徒が対象

○学校給食費補助金【3,832千円】 *New*

下記の条件のいずれかに当てはまる児童・生徒については、給食費相当額を補助

<補助条件>

- ✓ 湯沢市民で、市外の学校へ通学している児童生徒
- ✓ 湯沢市民で、県立の学校へ通学している児童生徒
- ✓ 湯沢市民で、アレルギー等により弁当を持参している児童生徒



湯沢駅周辺複合施設等整備事業

担当：企画課

○湯沢駅周辺複合施設等整備に係る経費 【435,072千円】


令和5年度：「湯沢市の玄関口として多世代が集い、学び、憩い、交流できる『にぎわい拠点』の創造」を基本コンセプトとした複合公共施設の概要が決定




令和8年10月開館予定

R6実施内容


- ・実施設計
- ・市道付替工事 等




○子育て支援
高い天井による縦方向の空間を活用して安全にのびのび遊べる空間



○生涯学習
開放的で多様な活動が重なり合う相乗効果が生まれる空間



○図書館
施設内どこでも図書の持ち運びが可能で居心地のいい滞在型空間



○歴史資料展示
湯沢市の歴史や文化に触れながら学べる空間

3. 主要施策の推進に向けた取組

【基本目標2】健康と暮らしを共に支え合う笑顔があふれるまち

少子化・子育て

子ども・子育て支援事業

R5繰越

担当：子ども未来課

○保育対策総合支援事業費補助金【2,905千円】*New*

国が令和8年度に創設する予定の「こども誰でも通園制度」の試行的事業を実施する法人に対し、事業実施に要する運営費を助成する。

※「こども誰でも通園制度」とは？

専業主婦（夫）や育休中の在宅で子育てする家庭等、保護者の就労要件を問わず誰でも通園可能とする制度

| 項目 | 内容 |
|-------|--------------------------|
| 実施法人 | 双葉幼稚園、湯沢よつばこども園 |
| 利用対象者 | 保育所等に通っていない0歳6か月～2歳の未就園児 |
| 利用時間 | 試行的事業では、一人あたり「月10時間」を上限 |
| 保護者負担 | こども一人1時間当たり300円程度 |

県内では唯一の実施



<期待される効果>

- 在宅で子育てしている場合でも、専門職がいる場で同世代とかわりながら成長できる機会が得られる。
- 理由を問わず、誰でも簡単に利用でき、育児負担や孤立感が解消される。

DXの推進

暮らしやすく魅力あふれる地域にするため「デジタル社会の構築に向けた取組」を着実に進め、市民、利用者の利便性向上のための基盤構築を推進する。

予算額【319,224千円】

<主な取組>

デジタル基盤を構築し業務の効率化

- ・標準化システム移行事業

校務DXを見据えた学校系ネットワークの更新

- ・学校用パソコン更新事業

ICTを活用した授業改善

- ・学校情報システム関係経費

公共施設予約・決済システム導入施設の拡充

- ・官民連携推進費

デジタル変革（DX）推進計画の推進

- ・デジタル変革推進事業



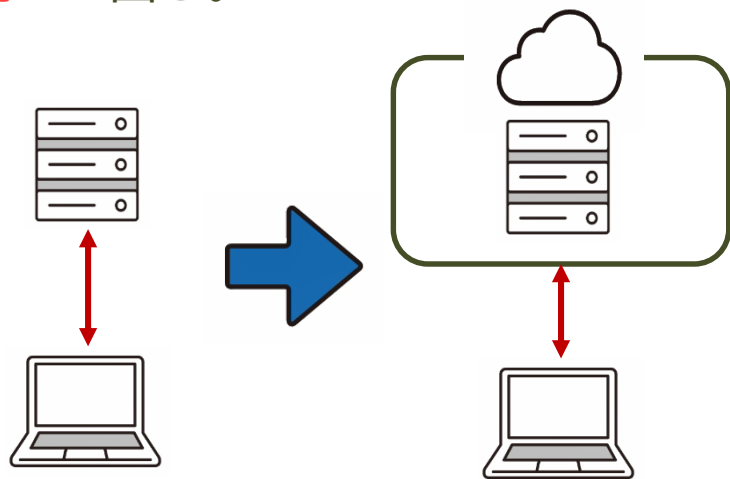
標準化システム移行事業

担当: 情報政策課

○標準化システム移行に係る経費【277,029千円】*New*

税、住民基本台帳、介護保険等に係る基幹業務システム20業務について、国が示す標準仕様に合わせたシステムへ移行することで、業務効率化と市民サービスの向上を図る。

～ガバメントクラウドを活用するメリット～



現在 (庁内にあるサーバーとの通信) (ガバメントクラウド上のサーバーとの通信)

標準化システムとオンライン申請の連携が加速し、市民サービス向上につながる

自治体システムの統一により、転入転出等の手続きが簡素化され、市民サービス向上につながる

バンダーロックインの解消、改修費などのコスト削減につながる

ガバメントクラウドを利用し、アプリを自治体で共同利用することにより、コスト削減につながる

※地方公共団体情報システムの標準化に関する法律により、令和7年度末まで、基幹20業務システムについて、国が策定する標準仕様に準拠したシステムへ移行することが義務化され、原則として国が用意するガバメントクラウドを使用することが定められた。

学校情報システム関係経費

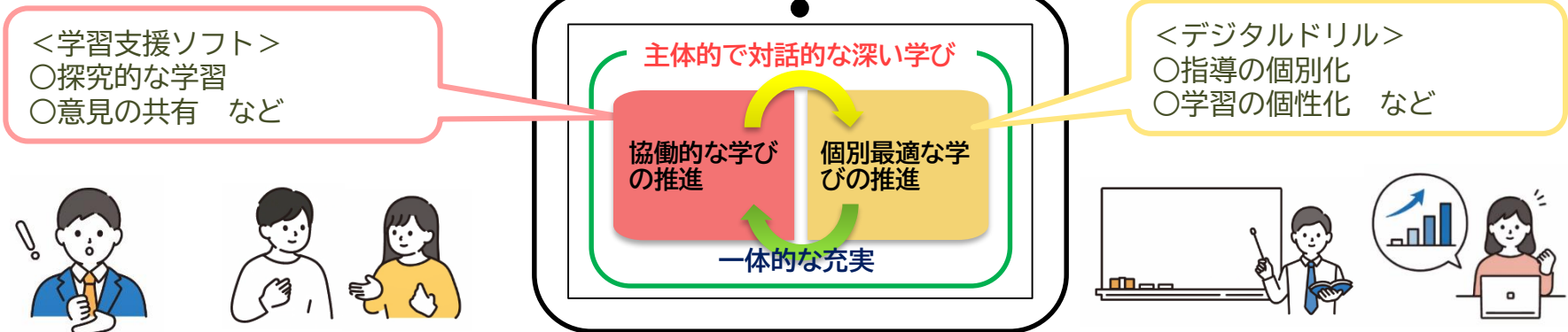
担当:教育総務課

○デジタルドリルソフトウェア使用料 【2,832千円】 *New*

A I 型のデジタルドリルの導入（市内全小中学校）により、児童生徒の個別最適な学びの推進、教職員の採点負担等の軽減を図る。

○学習支援ソフトウェア使用料 【2,124千円】

授業支援ツールを引き続き活用し、児童生徒が自ら考え表現する協働的な学びの推進を図る。



児童生徒の資質・能力育成のため、ICTを最大限活用した新たな教材等を積極的に取り入れ、主体的で対話的な深い学びの実現に向けた授業改善を図る。

脱炭素化の推進

2050年まで二酸化炭素排出量実質ゼロにする「脱炭素化」、省エネルギーの推進などに取り組むほか、今後策定される「湯沢市ゼロカーボン推進計画」に揚げるプロジェクト施策を重点的に推進する。

予算額【486,490千円】

＜主な取組＞

木質バイオマスストーブ購入費等の助成

- ・木質バイオマス導入促進事業

生ごみ処理容器等購入費の助成

- ・ごみ処理対策事業

カーシェアリング実証の実施

- ・地域公共交通活性化事業

食品ロス削減マッチングサービスの実施

- ・地球温暖化対策事業

体育館等天井照明のLED化

- ・小・中学校長寿命化改修事業



木質バイオマス導入促進事業

担当：農林課

○木質バイオマス利用促進事業補助金 【12,500千円】 *New*

市内に所在する住宅等の所有者及び自ら居住しようとする住宅を購入・建築する者に木質バイオマスストーブの導入及び木質バイオマス燃料（薪・ペレット）の購入に要した経費の一部について補助する。

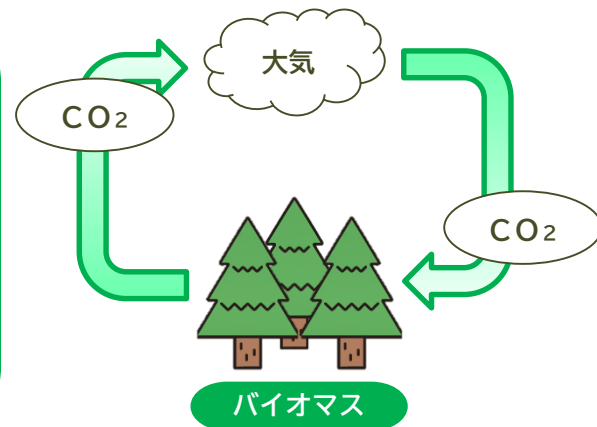
<補助対象経費>

- ・木質バイオマスストーブの導入に要する経費
- ・木質バイオマス燃料購入経費



<補助率・補助額> 補助対象経費の総額の $1/2$ 以内

- ・木質バイオマスストーブ 上限20万円
- ・木質バイオマス燃料 上限5万円



◎生物由来のCO₂は大気との間で循環

※木質バイオマスなどの植物由来の燃料は、炭素の排出と吸収が差し引きゼロとなる「カーボンニュートラル」とされている。

<期待される効果>

- ・化石燃料の代替となる木質バイオマス燃料の普及促進
- ・ゼロカーボンの推進、市民の環境保全意識の高揚

ごみ処理対策事業

担当：環境共生課

○生ごみ処理容器等購入費補助金 【1,300千円】 *New*

ごみ減量化と資源の有効利用を目的として、生ごみ処理容器等の購入費の一部を助成することで、市内の家庭から排出される生ごみの自家処理を推進する。

<補助対象経費>

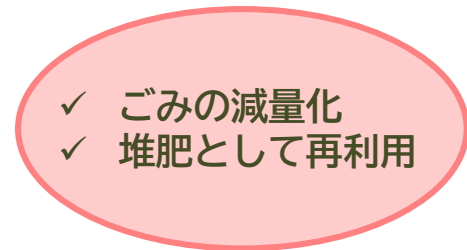
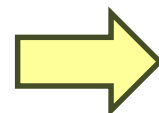
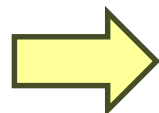
- ・生ごみ処理容器等の購入金額



<補助率・補助額>

補助対象経費の総額の1/2以内（自宅で再エネ電気使用の場合：2/3以内）

- ・電動処理機能有り 上限4万円（再エネ使用：上限5.3万円）
- ・その他の容器 上限5千円（再エネ使用：上限6.5千円）



『湯沢市ゼロカーボン推進計画』

▶短期（重点）プロジェクト：ごみ減量大作戦～1人1日おにぎり1個分ごみを減らそう～

地域公共交通活性化事業

担当: 企画課

○ 公用車カーシェアリング実証経費 【2,218千円】 *New*

環境に優しい車両を、平日は公用車、休日は観光客や市民等を対象としたカーシェアリング実証を実施する。

<期待される効果>

環境に優しい次世代自動車（ハイブリットカー等）の利用促進、車両の所有から利用への転換、利用形態の多様化など、公用車の有効活用と二次交通の整備促進が期待される。

スマホで簡単予約



公用車の有効活用

環境に優しい車



観光地への移動

日常生活の移動

地域と連携した まちづくりの推進

地域の身近な課題を住民自らが解決するなど、地域力の更なる向上を図り、地域全体の安定性と幸福度の向上を目指すとともに、引き続き「参加・協働のまちづくり」を推し進め、自立性のある地域づくりを目指す。

予算額【316,381千円】

＜主な取組＞

地域自治組織交付金の交付

- ・地域自治組織支援事業

高齢者世帯等に対する除雪サービスの実施

- ・高齢者等雪対策事業

集落支援員の活用による地域づくりの支援

- ・協働のまちづくり推進事業

地域学校協働活動の推進

- ・地域学校協働本部事業

地域住民相互による除排雪経費の助成

- ・地域雪対策支援事業



地域自治組織支援事業

担当：まちづくり協働課、各総合支所

○地域協議会交付金【500千円】

各地区組織における課題の共有や地域間交流を推進するため、湯沢市自治組織連絡協議会や地域協議会が実施する事業等に対して交付金を交付する。

○地域づくり事業交付金【45,794千円】

各地区組織を構成する町内会等の数やまちづくり計画に基づき実施する地域づくり活動の実施に対して、交付金を交付する。

基礎分

町内会等への加入世帯数に基づき算定

加算分

町内会等による指定事業の実施回数に基づき算定

重点事業

通常事業

地区組織活動分

地区組織がまちづくり計画に基づき実施する事業が対象

上限：30万円

活動推進分

地区組織が実施する地区の特色を活かした事業が対象

上限：30万円

湯沢地区事務加算分

湯沢地区の地区組織を運営するための事務負担に対する交付金

一律：10万円

重点事業…①高齢者支援（ごみ出し又は除排雪）②空き家・空き地環境整備 ③デジタル活用 ④地域ビジネス

通常事業…①環境美事業 ②空き家対策事業 ③害虫駆除事業 ④交通安全・防犯事業 ⑤高齢者支援事業
⑥子ども支援事業 ⑦伝統文化継承事業 ⑧住民交流事業



高齢者等雪対策事業

担当：長寿福祉課

○福祉除雪サービス業務委託【14,620千円】

自力で自宅周りの除排雪が困難な高齢者世帯等に対し、早朝の道路除雪によって居宅の出入口前に堆積した雪を1m～1.8m幅で除去する除雪サービスを行う。

自己負担額：年額8,000円

○雪下ろし費用助成費【19,935千円】

高齢者世帯等の雪下ろし費用の一部を助成する。

助成額：1回の雪下ろし費用の半額（上限15,000円）
※1シーズン3回まで

安全・安心な在宅生活継続への支援
住み慣れた自宅や地域で暮らすことのできる環境の実現



産業振興の 基盤強化

地域の自然や文化的な資源を最大限活用し、観光地としての魅力をさらに高めるとともに、地域の特産品や技術を活かした新たなビジネス創出など地域の経済発展と雇用拡大につながる産業基盤の強化に取り組む。

予算額【693,342千円】

＜主な取組＞

成沢工業団地の造成

- ・企業誘致対策事業

誘客拡大等を目的とした道の駅周辺の整備

- ・道の駅おがち周辺整備事業

インバウンド拡大に向けた観光情報発信の強化

- ・観光情報発信事業

eスポーツによる商店街振興

- ・地域おこし協力隊事業（中心市街地活性化）

市内企業の設備投資、技術継承等の支援

- ・雇用創出対策事業



企業誘致対策事業

担当：商工課

○成沢工業団地造成工事【266,557千円】*New*

成沢工業団地への企業進出を目的とし、県市連携事業による県有地（旧湯沢商工高校跡地）取得と造成工事を行う。

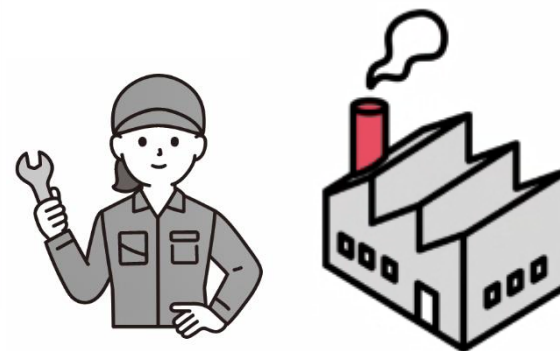
<これまでの成果>

令和5年5月：Orbray株式会社（本社東京都）と、本社機能の一部移転と既存工場の集約を目的に、成沢工業団地土地売買協定を締結

令和5年8月：同団地における造成工事設計、開発行為申請図書作成等の業務を発注



（令和5年：成沢工業団地土地売買協定締結の様子）



3. 主要施策の推進に向けた取組

【基本目標3】 ふるさとの技が光る、存在感あふれるまち

【基本目標5】 豊かな自然が輝く安全で暮らしやすいまち

産業振興

道の駅おがち周辺整備事業

担当: 総務課、観光・ジオパーク推進課、建設課

○新設駐車場工事、小町の郷公園造成工事等 【215,755千円】

令和7年度に、東北中央自動車道「横堀道路」が開通予定であり、雄勝こまちICと、道の駅おがち「小町の郷」のアクセス向上が図られることから、**防災機能の強化や誘客拡大**などを目的として、道の駅周辺の整備を行う。



○市道道の駅おがち線ほか道路改良工事等 【57,200千円】

地域内交流の場や防災拠点となる「道の駅おがち」「小町の郷公園」への**アクセス性向上を図るための市道**を新設する。



観光情報発信事業

担当：観光・ジオパーク推進課

○「台湾」インバウンド誘客事業【19,763千円】

- ・台北市で開催される旅行博に出展し、誘客PRを行い**本市の認知度向上を図り外国人旅行者の誘客を促進**する。
- ・台中市で本市独自の観光物産展を開催し、観光PRを行うとともに物産知名度アップを図り、**台湾市場における本市の特産品及び伝統工芸品等の販路拡大を促進**する。



(令和5年7月、8月：台湾トップセールスの様子)

地域おこし協力隊事業 (中心市街地活性化)

担当:商工課

○“eスポーツ”による商店街振興 【4,347千円】 *New*

地域おこし協力隊制度を活用し、**中心商店街のにぎわい創出に向けたeスポーツの拠点の設置や関連IT企業の誘致**とともに、eスポーツを通して湯沢市の情報を発信する。

なぜ、eスポーツ？

- ・リアルスポーツに比べ激しい身体行動がなく、子どもから高齢者まで楽しめる
- ・省スペースで可能であり、空き店舗の改修により実現可能
- ・県内では湯沢市はeスポーツ先進地



(湯沢eスポーツフェスタの様子)

eスポーツは中心市街地に人を呼び込む
大きな可能性を秘めている

4. 主な政策的事業



4. 主な政策的事業

電源立地地域対策交付金 221,925千円

- ①初期対策交付金（期間Ⅲ） かたつむり山発電所 35,000千円 ※初期対策
- ②初期対策交付金（期間Ⅱ） 木地山地熱発電所 175,000千円 ※初期対策
- ③促進対策交付金 山葵沢地熱発電所 11,925千円 ※促進対策

電源立地地域対策事業基金 60,000千円

- ④基金繰入金 60,000千円 ※初期対策

※R5.12補正 基金積立
 初期対策交付金（期間Ⅱ） かたつむり山発電所 175,000千円

| | 初期対策交付金 | 促進対策交付金 |
|--------|--------------------------------|--------------------------------------|
| 交付対象 | 秋田県、湯沢市、羽後町、東成瀬村、横手市、由利本荘市 | （地熱発電所が立地する）湯沢市 |
| 市の活用方針 | 国の交付規則に基づき、主要施策の推進に向けた市の事業等に活用 | 地熱開発への理解促進を起点とした発電所立地地域周辺における市の事業に活用 |

4. 主な政策的事業

初期対策交付金【270,000千円】

少子化・子育て対策 の充実

【77,000千円】

<放課後児童健全育成施設整備事業>

- ・雄勝地域放課後児童クラブ整備工事

<小学校長寿命化改修事業>

- ・稲川小学校屋根防水改修

<中学校統合事業>

- ・湯沢南中学校北側駐車場整備工事

<都市公園等維持管理費>

- ・前森公園遊具新設工事

脱炭素化実現に向け た施策の推進

【72,000千円】

<体育施設改修等事業>

- ・稲川体育館LED化改修工事設計委託
- ・健康ドームLED化改修工事設計委託
- ・健康ドームLED化改修工事

<道路照明灯維持管理費>

- ・道路照明灯LED化改修工事

<基金費>

- ・電源立地地域対策事業基金積立金

地域と連携したまち づくりの推進

【121,000千円】

<温泉給湯施設整備事業>

- ・小安峡温泉送湯管理設2期工事

<道路橋梁維持管理費>

- ・岩崎森合線、沖ノ沢線

促進対策交付金【11,925千円】

◎地熱開発への理解促進 【11,925千円】

<地区センター管理運営費>

- ・ジオスタ☆ゆざわ改修工事（高松地区センター空調設備改修工事）



地域おこし協力隊事業

担当: まちづくり協働課

○関係人口創出・拡大等の業務(委託→直営) 【7,852千円】 *New*

本市に関心がある方を対象に、事業を通じて本市の現状を知り、地域に興味をもってもらうとともに、参加者自身が本市との関わり方を考え、地域や地域の人々と多様に関わる「**関係人口**」を構築するきっかけを作る。



- ・ 地域おこし協力隊の募集、採用
- ↓
- ・ 関係人口創出・拡大イベント（ゆざわローカルアカデミー）企画、参加者募集、開催業務等
- ↓
- ・ 参加者と地域との継続的な関係性の構築、強化

地域外の人材を積極的に誘致し、**関係人口として地域との継続した関係性の構築や地域力の維持・強化**に資する取組を実践してもらうことで地域の活性化を目指す。

緑風荘大規模改修事業

担当：長寿福祉課

○緑風荘大規模改修に係る経費 【506,763千円】 *New*

公共施設再編計画に基づき、温泉保養施設として機能再編し安定した施設運営が継続できるように改修工事を行う。



<主な改修内容>

- ・老朽化部分の改修、機械設備の更新
- ・エアコン、サウナの設置 等



管理運営について、指定管理者制度を導入予定



令和6年11月～12月 リニューアルオープン予定



老朽化に伴う建物修繕及び設備更新による利用者の安全確保と若い世代や子ども
のいる家庭が気軽に利用できる環境の整備により、幅広い年齢層の集客を図る。

湯沢文化会館施設整備事業

担当：湯沢文化会館

○湯沢文化会館大規模改修工事【2,092,071千円】

令和4年度に策定した「湯沢文化会館機能向上事業計画」に基づき、施設の経過年数や老朽化から必要とされる基幹となる部位・設備の改修、またバリアフリー化、機能性、利便性、安全性の向上等に対応するための改修を行う。

R6実施内容

- 委託料
 - ・備品等運搬作業業務、工事監理業務
- 工事請負費
 - ・建築工事、電気設備工事、機械設備工事
- 備品購入費
 - ・大ホール用グランドピアノ等



令和7年4月1日
リニューアルオープン予定

湯沢市は
経営資源の最適化を
目指します